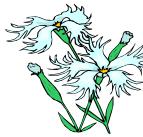




# なでしこ



令和8(2026)年 1月  
学校だより 第9号  
北区立なでしこ小学校

2026年、いい年に

校長 關口 泰正

昨年2025年も、多くの日本のスポーツ選手が、世界の舞台で活躍しました。

各スポーツ、多くの種目で、様々な記録が更新されたり、チームの中で活躍したりした選手が出ました。驚くような新記録が出るたびに「こんなにすごい記録が出てしまうともう限界だろうな」とか、活躍している様子を見て「こんなに日本から世界へ飛び出して活躍する選手はもう現れないだろうな」とか思ってしまいますが、あっさりとその壁を超えていく選手が、どんどん出でてきています。

そんな活躍を見るたびに、これから世界を背負っていく世代への頼もしさを感じます。スポーツの分野に限らず、次世代を作っていく人たちの活躍ぶりや意気込みを見ると、心強く、嬉しくなります。

なでしこ小の子供たちも、日々力を付け、たくましく活躍する様子に嬉しさを感じます。

毎日、子供たちの様子を見ていると、堂々と自分の意見を発表しているな、見通しをもって自分から行動しているな、友達への思いやりを感じるな、など、一人一人のそれぞれの成長を感じます。そして、みんなでなでしこ小をよりよい学校にしていこうという意気込みを感じます。

なでしこ小の子供たちは、これから社会を作り、発展させていくパワーを毎日蓄えています。

子供たちを見ていると、大人の世代が思っているよりも、もっともっといい社会を次世代は作っていくのではないかと感じます。2026年もそんな子供たちの力をさらに高めていきたいと考えています。

本年も、子供たちが毎日笑顔で楽しく学校生活を送っていけるように、全教職員で子供たちのことを支え、教育活動を充実していきます。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 長縄・短縄を使った運動について

体力向上部 陣内 慶央

限られたスペースでも取り組める運動として、長縄・短縄を使った活動に取り組んでいます。

10月は「長縄チャレンジ」を実施しました。「長縄チャレンジ」では、学級児童全員で長縄を使った8の字跳びを行い、3分間で何回跳べるかを競います。練習期間には、それぞれの学級で自分たちが決めた目標に向かって協力する姿が見られました。本番の記録会では、多くの学級が最高記録を出し、達成感を感じていました。

短縄を使った運動にも取り組んでいます。休み時間には、校庭・体育館・なでしこモールといろいろな場所で縄跳びを行っています。難しい技に挑戦したり、前跳びを長く続けて持久力を高めたりするなど、様々な運動に取り組んでいます。今年の「なわとびカード」には、二人組で跳ぶ技も入れてやり方を紹介しました。友達と息を合わせて、一緒に楽しく跳ぶ様子も見られています。

今後も、日常的に体を動かす機会を充実させ、体力向上に向けた取り組みを推進していきます。

## 本校の学校給食について

栄養士 市川 三紗

本校では、「安心・安全」そして「おいしい」給食づくりに日々努めています。だしは、かつお節や鶏ガラから丁寧にとり、カレーのルウや揚げ物、ゼリーもすべて手作りです。さらに、行事食をはじめ、日本の郷土料理や世界の料理、「おはなし給食」や「セレクト給食」など、子どもたちが食べる楽しさを感じられるよう、献立にも工夫を凝らしています。

1月24日～30日は「学校給食週間」です。この期間は、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めることを目的とし、毎年テーマを決めた給食を提供しています。今年度は、給食委員会が先生にインタビューを行い、「思い出に残っている給食」をテーマに献立を立てました。ご家庭でも、給食の話題を通して、「食」についてお子さんと話してみてはいかがでしょうか。毎月19日の「食育の日」に「たべものしんぶん」を発行しておりますので、ぜひそちらも食育にご活用ください。

## 交通安全指導について

生活指導部 吉田 基哉

毎日の登下校の際には「自分の命を自分で守る」ことを意識しながら、日々安全に過ごす子供たちの姿が多く見られます。

日頃から、校内でも元気に挨拶をする子供たちが多く、そうした姿に私自身、元気をもらいます。地域の方からも、自分から挨拶をする子が増えたという声をいただいており、こうした日々の挨拶の習慣が、不審者を近寄りにくくさせ、ひいては子供たち自身の身を守ることにつながると思います。

また通学路の、見通しが悪い場所や交通量の多い地点では、一度止まって左右を確認してから通行する児童や、広がって歩かないように、道路の建物側に寄って歩く児童の姿も見られます。毎月の安全指導の場において伝えていることを、自ら意識している児童が多く、大変嬉しく思います。

ただ、地域の方から、急いで登校しようとして、一部の児童が走ってしまっているという声をいただくことがあるため、今後、学校でも改めて指導して参ります。

日々の安全な登下校は、日頃の意識の積み重ねのもとに成り立っています。学校一丸となって、児童一人が安全に登下校できるよう、今後も継続的な指導をして参ります。ご家庭でも、登下校の仕方や放課後の過ごし方について、改めて子供たちと確認していただければ幸いです。